

令和2年度 静岡病院決算について

1 決算概要

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、感染症患者等の受入病床を確保したことで、一般病棟の稼働病床が減少し、患者数の減少が顕著となりました。

収益面については、入院・外来ともに、患者数の減少を避けられず、入院収益は121億14百万円、前年度比8億43百万円の減となりましたが、外来収益は、抗がん剤等高額薬剤投与による診療単価の上昇により、51億95百万円、前年度比19百万円の増となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症対策事業に係る補助金収益として、22億41百万円を計上しています。

費用面については、給与費は、新型コロナウイルス感染症対応に係る手当等や職員数の増加により、94億69百万円、前年度比1億89百万円の増となったほか、報償費は、麻酔科医およびICU当直医の増加に伴い、3億52百万円、前年度比1億20百万円の増となりました。

また、総合医療情報システムのリース期間満了に伴う再リースにより、賃借料は3億54百万円、前年度比81百万円の増となりました。減価償却費は、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、高額医療器械の更新等を行ったものの、償却対象となる資産数の減少により、11億34百万円、前年度比1億19百万円の減となりました。

これらの結果、令和2年度の総収益は220億84百万円、総費用は208億62百万円、当期純利益12億22百万円の黒字決算となりました。

当院は、静岡県で唯一の第一種感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症に立ち向かい、令和2年2月のクルーズ船の時から、重症・中等症患者を中心に、170名（令和3年6月8日現在）の患者を受け入れ、特に重症患者にはECMO（エクモ：体外式膜型人工肺）も使用し、診療しています。

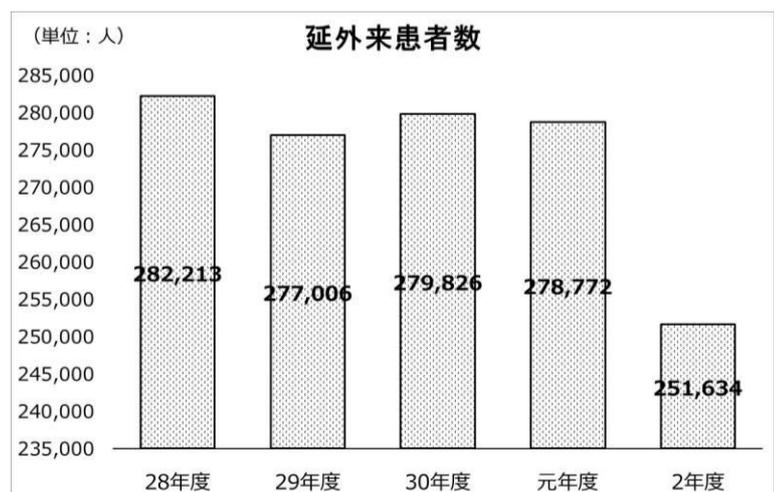
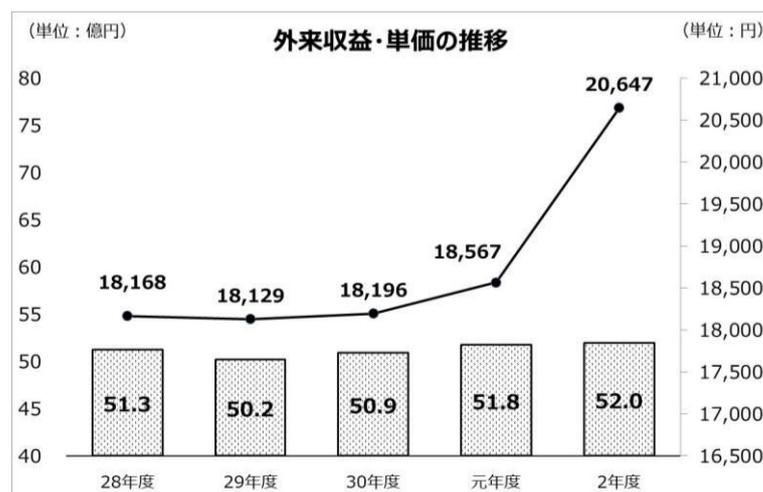
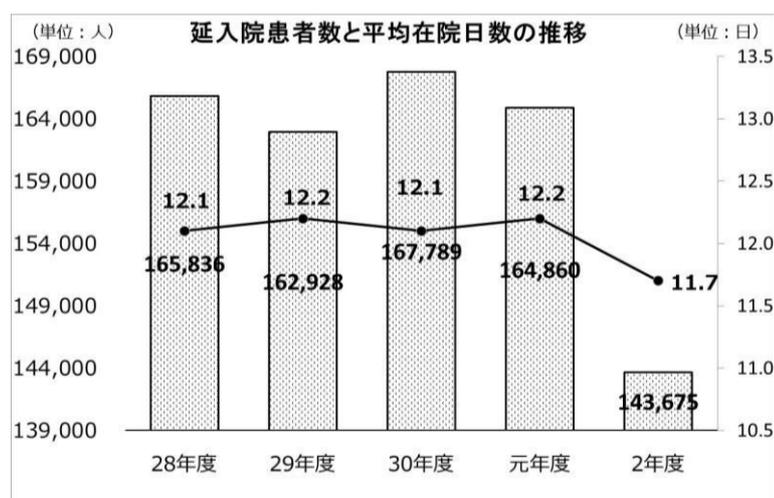
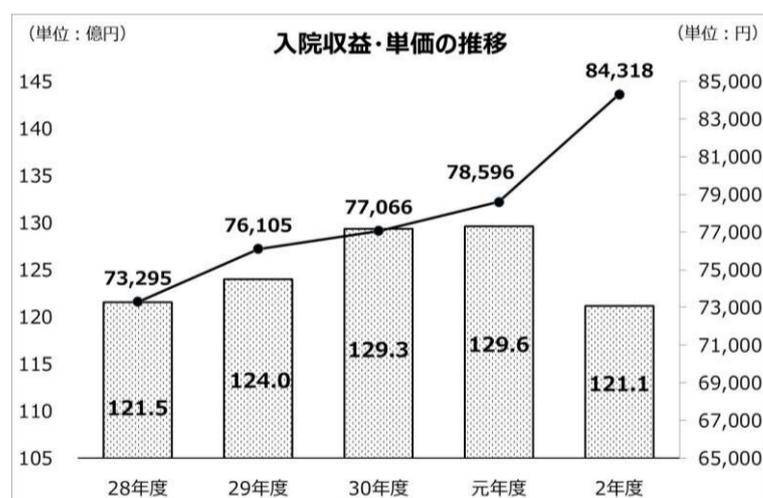
これからも、感染症指定医療機関としての役割を果たしつつ、市民の皆さんに高度専門医療を提供し続けてまいります。

2 主な診療実績

入院関連	令和2年度実績	令和元年度実績	増減
診療単価	84,318円	78,596円	5,722円
延患者数	143,675人	164,860人	△ 21,185人
1日平均患者数	394人	450人	△ 56人
新患者数	11,279人	12,502人	△ 1,223人
病床稼働率	77.8%	89.4%	△ 11.6P
平均在院日数	11.7日	12.2日	△ 0.5日

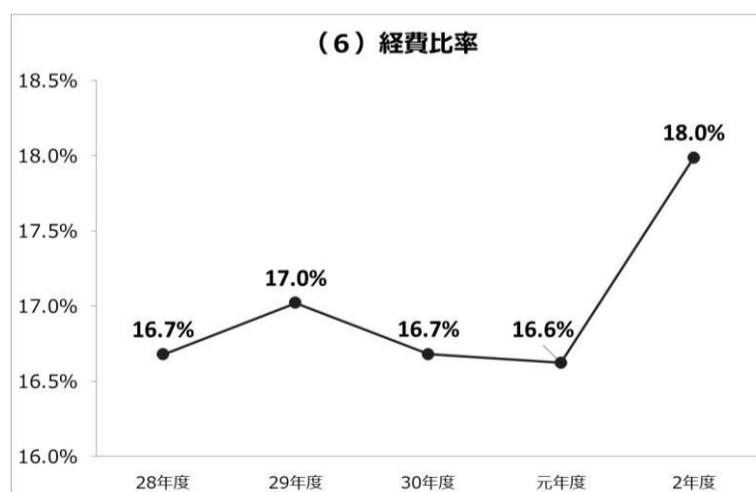
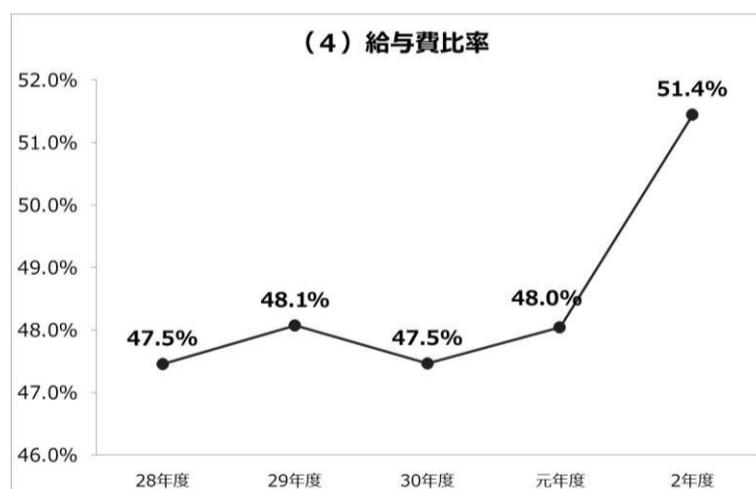
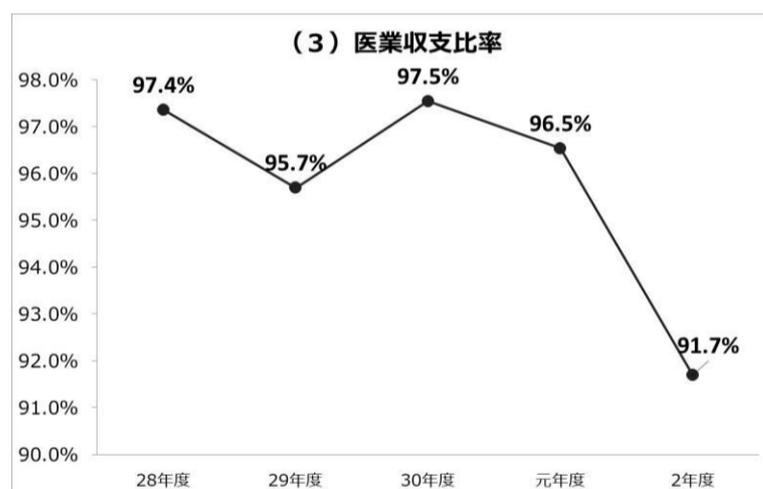
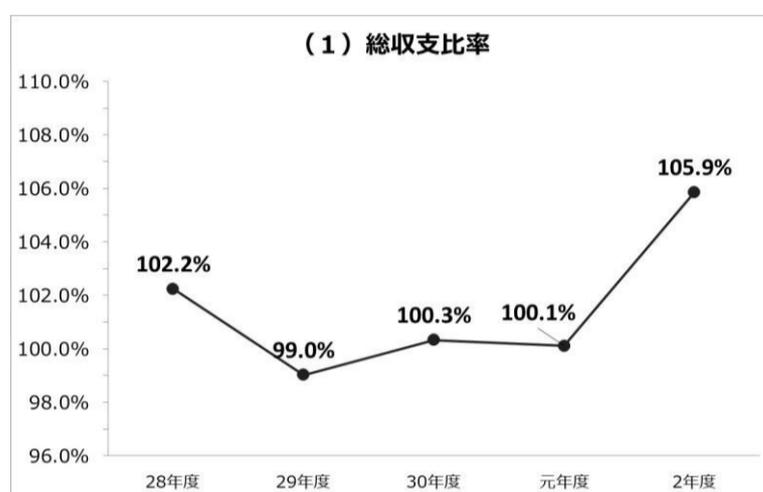
外来関連	令和2年度実績	令和元年度実績	増減
診療単価	20,647円	18,567円	2,080円
延患者数	251,634人	278,772人	△ 27,138人
1日平均患者数	1,036人	1,162人	△ 126人
新患者数	19,841人	23,940人	△ 4,099人

稼働状況等	令和2年度実績	令和元年度実績	増減
手術件数	4,975件	5,317件	△342件
紹介率	86.4%	86.7%	△ 0.3P
逆紹介率	144.0%	133.7%	10.3P



3 経営指標

区分	令和2年度実績	令和元年度実績	増減
(1) 総収支比率	105.9%	100.1%	5.8P
(2) 経常収支比率	106.1%	100.1%	6.0P
(3) 医業収支比率	91.7%	96.5%	△ 4.8P
(4) 給与費比率	51.4%	48.0%	3.4P
(5) 材料費比率	33.0%	31.8%	1.2P
(6) 経費比率	18.0%	16.6%	1.4P



4 財務諸表

(1) 損益計算書

一会計期間（4月1日から翌年3月31日までの1年間）に属するすべての収益と費用を記載した法人の経営成績を明らかにしたものです。

(単位:百万円)

項目	令和2年度 ①	令和元年度 ②	増減額 ①-②	主な増減理由
総収益	22,084	20,569	1,515	
営業収益	21,805	20,368	1,437	
医業収益	17,642	18,485	△ 843	
入院収益	12,114	12,957	△ 843	延患者数: △21,185人(2年度:143,675人、元年度:164,860人) 単価: +5,722円(2年度:84,318円、元年度:78,596円)
外来収益	5,195	5,176	19	延患者数: △27,138人(2年度:251,634人、元年度:278,772人) 単価: +2,080円(2年度:20,647円、元年度:18,567円)
その他医業収益	368	393	△ 25	※室料差額収益、文書料、健診料
保険等査定減	△ 36	△ 42	6	
運営費負担金収益	1,790	1,788	2	中期計画どおり
補助金等収益	2,315	81	2,233	新型コロナウイルス感染症関連補助金 2,241百万円
寄附金収益	6	1	5	
資産見返戻入	53	14	39	※負担金等財源取得資産の減価償却費見合い分収益計上
営業外収益	278	196	82	
運営費負担金収益	60	62	△ 2	中期計画どおり
財務収益	1	2	△ 1	※預金利息
その他営業外収益	217	132	85	※保険金収入(示談金分)
臨時利益	0	4	△ 4	
その他臨時利益	0	4	△ 4	
総費用	20,862	20,546	316	
営業費用	19,660	19,577	82	
医業費用	19,238	19,148	90	
給与費	9,076	8,880	195	正職員(再任用含む)の増員および定期昇給による給料・手当等の増加 全体+23人(2年度末:916人、元年度末:893人) (内訳) 医師:+7人(2年度末:158人、元年度末:151人) 看護師+6人(2年度末:518人、元年度末:512人) 薬剤師+1人(2年度末:36人、元年度末:35人) コメディカル+6人(2年度末:137人、元年度末:131人) 事務+3人(2年度末:67人、元年度末:64人)
材料費	5,817	5,877	△ 60	診療材料費△81百万円(2年度:2,905百万円、元年度2,986百万円) 薬品費+21百万円(2年度:2,871百万円、元年度2,850百万円)
減価償却費	1,131	1,251	△ 119	償却対象件数の減少
経費	3,173	3,073	101	報償費+120百万円、消耗品費+13百万円、光熱水費△37百万円、 修繕費△38百万円、賃借料+81百万円、委託料△52百万円
研究研修費	41	67	△ 26	※学会、研修旅費
一般管理費	421	430	△ 8	
給与費	393	399	△ 6	
減価償却費	3	3	0	
経費	25	27	△ 2	
営業外費用	1,156	968	188	
財務費用	119	125	△ 6	※支払利息(移行前地方債・長期借入金)、リース利息
消費税	921	834	87	増税による控除対象外消費税の増加
雑損失	116	9	107	※示談金
臨時損失	46	0	46	
固定資産除却損	2	0	2	
その他臨時損失	43	0	43	前期賞与引当金未計上分(臨時・派遣職員、常勤役員、研修医)
当期純利益	1,222	23	1,199	

(注)表中の数値は各項目ごと百万円未満を四捨五入しているため、合計及び増減額が一致しない場合があります。

(2) 貸借対照表

決算日（3月31日時点）におけるすべての資産（資金の運用形態）、負債及び純資産（資金の調達方法）を記載した法人の財政状況を明らかにしたものです。

（単位：百万円）

項目	令和2年度末 ①	令和元年度末 ②	増減額 ①-②	主な増減理由
資産の部	19,790	18,612	1,177	
固定資産	10,717	11,127	△ 410	
土地	3,001	3,001	0	
建物	5,376	5,804	△ 427	東館・西館等減価償却による減少
構築物	7	9	△ 1	オイルタンク等減価償却による減少
器械備品	1,933	1,778	155	医療機器の増加
車両	0	0	0	
リース資産	2	81	△ 79	電子カルテ・ネットワーク機器等減価償却による減少
建設仮勘定	10	9	0	
無形固定資産	5	0	5	※電話加入権、ソフトウェア
長期貸付金	383	445	△ 62	看護師修学資金の新規貸付減少
破産更生債権等	67	63	4	
貸倒引当金(破産更生債権等)	△ 67	△ 63	△ 4	
その他投資	1	1	△ 1	※借上げ住宅敷金
流動資産	9,072	7,485	1,587	
現金及び預金	4,633	4,113	520	※キャッシュ・フロー計算書参照
未収金	4,170	3,140	1,030	補助金分の増加
貸倒引当金	△ 32	△ 37	6	
医薬品	150	130	20	
診療材料	134	125	9	
前払金	15	13	2	医師採用サービス手数料の増加
その他流動資産	2	2	0	※火災保険前払分、預金利息未収分
負債の部	13,306	13,351	△ 45	
固定負債	10,613	10,549	64	
資産見返負債	354	177	178	※新型コロナウイルス感染症補助金設備購入分の増加
長期借入金	600	600	0	
移行前地方債償還債務	5,012	5,281	△ 269	既往債の償還が進んだことによる減少
引当金	4,647	4,490	157	退職給付引当金の増加
リース債務	0	1	△ 1	リース支払が進んだことによる減少
流動負債	2,693	2,802	△ 109	
一年以内返済予定長期借入金	300	240	60	医療機器購入のための借入による増加
一年以内返済予定移行前地方債償還債務	269	366	△ 97	既往債の償還が進んだことによる減少
未払金	1,411	1,478	△ 68	固定資産購入分減少(元年度末△134百万円)
未払費用	92	83	9	
引当金	492	433	58	賞与引当金の増加
一年以内支払予定リース債務	1	85	△ 84	R02年度にリース支払終了を迎えることによる
その他流動負債	128	115	13	※預り諸税、預り納付金
純資産の部	6,484	5,262	1,222	
資本金	4,919	4,919	0	※静岡市出資金
資本剰余金	0	0	0	
利益剰余金	1,564	342	1,222	
前期中期目標期間繰越積立金	320	320	0	第1期中期目標期間からの繰越
目的積立金	23	0	23	R1当期純利益振替による増加
当期末処分利益	1,222	23	1,199	
うち当期純利益	1,222	23	1,199	

(注) 表中の数値は各項目ごと百万円未満を四捨五入しているため、合計及び増減額が一致しない場合があります。

(3) キャッシュ・フロー計算書

一会計期間（4月1日から翌年3月31日までの1年間）における業務活動、投資活動及び財務活動の3つの区分に分けて資金の流れを明らかにしたもので、現金と普通預金の動きを示しています。

（単位：百万円）

項目	令和2年度 ①	令和元年度 ②	増減額 ①-②	主な増減理由
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,873	1,557	316	
材料の購入による支出	△ 6,245	△ 6,402	157	診療材料支払額の減少による
人件費支出	△ 9,333	△ 9,201	△ 132	給料等支払額の増加による
その他の業務活動による支出	△ 3,602	△ 3,371	△ 231	経費等支払額の増加及び消費増税の影響による
医業収入	17,654	18,538	△ 883	新型コロナウイルス感染症の影響による
運営費負担金収入	1,850	1,850	0	中期計画どおり
補助金等収入	1,435	95	1,340	新型コロナウイルス感染症に対する補助金の増加による
寄附金収入	7	30	△ 23	
その他の業務活動による収入	227	143	84	保険金の増加による
利息及び配当金の受取額	1	2	△ 1	
利息の支払額	△ 119	△ 125	6	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 942	624	△ 1,566	
定期預金の戻入による収入	1,500	3,500	△ 2,000	
定期預金の預入による支出	△ 1,500	△ 2,000	500	
有形固定資産の取得による支出	△ 979	△ 841	△ 138	新型コロナウイルス感染症関連補助金による購入額増加に伴う減
無形固定資産の取得による支出	△ 3	0	△ 3	
貸付金の回収による収入	53	63	△ 10	看護師修学資金返済分
貸付けによる支出	△ 70	△ 98	28	看護師修学資金貸付分
補助金等収入	56	0	56	新型コロナウイルス感染症関連補助金の増加
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 411	△ 465	55	
長期借入れによる収入	300	300	0	
長期借入金の返済による支出	△ 240	△ 180	△ 60	平成28年度～令和元年度借入分の返済による増加
移行前地方債償還債務の償還による支出	△ 366	△ 361	△ 6	既往債の償還額が減少したことによる
リース債務の返済による支出	△ 104	△ 225	120	電子カルテ及びネットワーク分支出の減少
資金増加額	520	1,716	△ 1,196	
資金期首残高	2,613	897	1,716	
資金期末残高	3,133	2,613	520	

（注1）期首及び期末時点で運用中の定期預金は、資金に含んでおりません。

（注2）表中の数値は各項目ごと百万円未満を四捨五入しているため、合計及び増減額が一致しない場合があります。

定期預金含む資金残高

（単位：百万円）

区分	令和2年度 ①	令和元年度 ②	増減額 ①-②
資金期末残高	3,133	2,613	520
定期預金	1,500	1,500	0
合計額	4,633	4,113	520

（注）合計額は貸借対照表「資産の部」の「現金及び預金」の金額と一致します。

5 長期借入金及び移行前地方債償還債務の状況

長期借入金（市からの借入金）及び移行前地方債償還債務（地方独立行政法人移行前に借り入れた地方債の償還債務）の状況は次のとおりです。

（単位：百万円）

区分	期首残高 (R2.4.1)	増減額			期末残高 (R3.3.31)	備考
		新規借入額 (A)	償還額 (B)	計 (A)-(B)		
長期借入金	840	300	240	60	900	医療機器整備
移行前地方債償還債務	5,648	0	367	△ 367	5,281	建設改良資金
計	6,488	300	607	△ 307	6,181	

6 新型コロナウイルス感染症関連補助金

2,471,151,000円

○ 医療器械を購入したもの（「資産見返負債」及び「資産見返戻入」に計上）

(単位:円)

交付元	補助事業名	補助対象 (※主たる設備等を記載)	当期交付額
国	新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金	GHCU生体情報モニター、免疫発光測定装置、ICUベット 他	38,890,500
	インフルエンザ流行期における新型コロナウイルス感染症を疑い患者を受け入れる救急・周産期・小児医療機関体制確保事業補助金	保育器、シリンジポンプ10台、輸液ポンプ20台、ビデオ喉頭鏡 他	13,586,100
県	新型コロナウイルス感染症を疑う患者受入れのための救急・周産期・小児医療体制確保事業補助金	感染防止クリーンベッド、パルス式キセノン紫外線照射ロボット(ライトストライク)、生体情報モニタ、脳神経内視鏡システム 他	111,977,000
	新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備整備事業補助金	体外式膜型人工肺(エクモ)、人工呼吸器、陰圧装置ユニット	40,767,375
	新型コロナウイルス感染症重点医療機関等設備整備事業補助金	超音波画像診断装置、気管支鏡、生体情報モニタ、分娩監視装置、新生児モニタ	20,331,000
	感染症検査機関等設備整備事業補助金	コロナ検体検査機器、卓上マイクロ冷却遠心機	4,323,000
計			229,874,975

[補助金により整備した医療機器(一例)]



○ 病院運営に係るもの（「営業収益」に計上）

(単位:円)

交付元	補助事業名	補助対象	当期交付額
国	新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金	新型コロナウイルス感染症患者等の対応を行う医師等の処遇改善手当、基本給、従事手当等 他	115,609,500
	インフルエンザ流行期における新型コロナウイルス感染症を疑い患者を受け入れる救急・周産期・小児医療機関体制確保事業補助金	研修医(救急)の教育にあたる医師の報償費 他	10,413,900
県	新型コロナウイルス感染症重点医療機関体制整備事業補助金	病床確保に要する費用	1,653,307,000
	新型コロナウイルス感染症患者等病床確保等事業補助金	病床確保に要する費用	202,464,000
	新型コロナウイルス感染症重症患者受入推進事業補助金	重症患者の受入れに要する費用	9,900,000
	新型コロナウイルス感染症回復患者転院等推進事業補助金	回復患者の転院・転床及び受入れに要する費用	310,000
	医療従事者支援交付金	新型コロナウイルス感染症入院患者等に対応した医療従事者への手当 他	16,000,000
	帰国者・接触者外来等設備整備事業補助金	帰国者・接触者外来の患者に対応する医師、看護師、検査技師が装着する個人防護具などの消耗品費等	4,320,000
	新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備整備事業補助金	新型コロナウイルス感染症入院患者等に対応する医師、看護師等が装着する個人防護具などの消耗品費等 他	811,625
	新型コロナウイルス感染症対応医療従事者宿泊施設確保事業費補助金	新型コロナウイルス感染症対応の医療従事者が帰宅することが困難な場合などに利用する宿泊施設の借上げ費用	4,541,000
市	静岡市新型コロナウイルス感染症重症患者対応体制整備事業補助金	新型コロナウイルス感染症重症患者の対応を行う医師等の基本給、従事手当等	223,000,000
	私立こども園・保育所等感染症拡大防止緊急対策事業補助金	院内保育所の感染症拡大防止のために購入したマスクや消毒液などの消耗品費等	500,000
	私立こども園・保育所等感染症緊急包括支援事業補助金	院内保育所の感染症拡大防止のために購入した消毒用クロスなどの消耗品費等	99,000
計			2,241,276,025